

先端経営学科

先端経営学科は、コンピテンシーの獲得のために学科の理念、育成する人材像にしたがってカリキュラムの編成をおこなっています。

学科の理念

企業は、IoT (Internet of Things:モノをインターネットでつなぐこと) で集めたビッグデータやICT (情報通信技術) を活用して人間の行動を分析し、経済的価値を引き出すデジタルビジネスを展開しています。先端経営学科では、ICT活用による実践的な知識とスキルを身に付け、企業経営の計画・分析・管理・運営に関する深い洞察力やグローバルな視点から経営課題の発見と解決を総合的に考えることができる人材を育成します。

学科の概要

先端経営学科デジタルビジネス専攻のなかにIT経営コースと起業家育成コースのふたつのコースが設置されています。

先端経営学科のふたつのコースでは、1年生から4年生までの少人数一貫専門教育を実施するとともに特に3・4年次のゼミナールでは、学生が主体的に学外プロジェクトへ参画できる機会 (PBL: Project Based Learning: 5~6人で行う「課題解決型学習」) を整えています。4年間のゼミを通じた少人数一貫専門教育は、他大学においても類を見ないカリキュラムであり、これをとおして、学生の「知りたい、見たい、聞きたい、話したい」というニーズに応えます。

専門教育科目のセメスター (学期) 制度は、学生が単位の修得をし易いように工夫された仕組みです。つまづくことなく4年間をとおして学習できる環境を提供します。洗練されたカリキュラムで鍛えられるその力は、主体的に問題を発見し、解決・提案ができる力に結びつき、将来へつながります。

「デジタルビジネス概論」や「BI (ビジネスインテリジェンス) とビッグデータ」, 「デジタルマーケティング」, さらにわが国初の学習者適応型e-Learningシステムを活用し、経営とITの関係から展開する「情報システム学概論 I・II」や地域の抱える問題の調査を実践する学外教育などの科目、及びビジネスプレゼンテーションコンテストが設けられています。これらをとおして、学生は、社会における自らの立場を認識し、大学における学問の重要性を認識し、積極的に学ぶ姿勢を身に付けることができるカリキュラムが編成されています。

教育目標

- ① 経営の専門知識と情報技術を活用して、デジタルビジネスの仕組みを広く学び、企業経営の課題を発見解決できるコンピテンシーを身に付けた人材の育成
- ② 社会や産業界のニーズを考慮した先進的なカリキュラムの実施、少人数一貫専門教育の充実、学習者適応型e-Learningを活用した教育の推進、および地域の活性化や街づくりなどにおける社会との連携
- ③ 各種資格取得の支援

教育の方法

主体的にアクティブラーニングの効果を上げるために、4年間の一貫した少人数専門教育 (ゼミナール) の配置の工夫および各自の専門性を高めるために、次のようにデジタルビジネスの基本を修得する工夫をしています。

- ① 主体的に学ぶ科目の配置

先端経営学科で学ぶ意義・心構えを確立するため、またそれぞれのコースに則したコンピテンシーを意識させる科目として1年次に「自己発見ゼミナール (必修)」を配置しています。これは、6~7人のクラスを単位として教員と対話する形で行ないます。1年次に続き、2年次の「プロジェクトゼミナール I, II」, 3年次~4年次前期の「ゼミナール I~III」及び4年次後期の「卒業論文」を通じて専門知識を活用した経営課題の発見・解決の方法の修得をPBL (Project Based Learning) などで図り、学生の能力を引き出します。

単位
制度
授業
カリ
キュ
ラム履
修
登
録成
試
験
お
よ
び卒
進
級
お
よ
び教
職
課
程留
そ
意
の
事
他
項
の学
部
教
育
課
程
履
修
モ
デ
ル
の
概
要履
修
に
必
要
な
単
位
と
な一
授
業
科
表
目一
年
次
配
当
科
表
目

② 経営学と情報技術の基礎の徹底

コンピテンシーを達成するための基本科目として、「デジタルビジネス概論」,「経営学への招待」,「流通の仕組み」,「自己発見ゼミナール」,「ICT入門」及び「ビジネスアプリケーションⅠ」を1年次に配置し、経営学と情報技術の基礎を早期に学習できる環境を提供します。

③ 専門性を高める実践教育

コア選択科目の「情報システム学概論Ⅰ」,「情報システム学概論Ⅱ」では学習者適応型e-ラーニングによって各自のペースで着実にデジタルビジネスの核心を修得します。IT経営コース特有の科目として、デジタル技術の豊富な活用事例を通して、デジタルビジネスを修得します。起業家育成コースでは起業実践の場としてアントレプレナーシップセンターと連携して起業家を育成します。

④ 社会連携

3年次には実社会での就労を経験する科目「インターンシップ」を提供します。学外プロジェクトへの参加の環境を提供することをおして、社会性と実務遂行能力の修得をサポートします。

⑤ 教職系専門科目

教職「商業」（高校）および教職「情報」（高校）の免許を取得するために必要な専門科目を配置しています。

コースの概要とコース別カリキュラムポイント

先端経営学科は、デジタルビジネス専攻のもとに2つのコースを設置しています。

IT経営コースの概要

IT社会における高度な情報技術と経営の専門知識を活用して経営課題を発見・解決し、豊かな社会の実現に寄与する人材の育成を目標とするコースです。企業が抱えるさまざまな経営課題を解決するためには、情報社会の発展がもたらしたIoTなどの情報技術と経営の関連性を適切に理解し、経営の改善・改革を推し進めることができるコンピテンシーを獲得するコースです。

起業家育成コースの概要

IoTなどの情報技術を活用して自ら進んで経営課題を解決し、地域の活性化や街づくりなどに幅広く社会との連携を深めてビジネスを創造できる人材の育成を目標とするコースです。地域の活性化や街づくりの課題を解決するためには、デジタルビジネスの核となるIoTなどの情報技術を活用するとともに、幅広く社会との連携を深めてビジネスを創造できるコンピテンシーを獲得するコースです。

コース別カリキュラムポイント

① IT経営コースのカリキュラムポイント

IT経営コースは、経営学の専門教育科目を学修するにあたり、経営と情報技術の関連性からコンピテンシーを達成する科目として、1年次に起業家育成コースと共通する必修科目の他、2年次に「経営戦略論」,「プロジェクトマネジメント」などを、3年次・4年次には「デジタルマーケティング」,「BIとビッグデータⅠ」などの科目を推奨するコア選択科目として配置し、広い視野から経営課題を発見し、改善・改革を主体的に企画・推進できる人材を育成します。

② 起業家育成コースのカリキュラムポイント

起業家育成コースは、起業と情報技術の関連性からコンピテンシーを達成する科目として、1年次にIT経営コースと共通する必修科目の他、2年次に「ベンチャービジネス論」,「アントレプレナーシップ論」を、3年次・4年次には「地域連携論」,「マーケティングリサーチ」,「BIとビッグデータⅠ」などの科目を推奨するコア選択科目として配置し、マーケットの動向分析、ビジネスの創造や地域の活性化を推進できる人材を育成します。

平成29年度 先端経営学科カリキュラム 人材像とコンピテンシー

先端経営学科 デジタルビジネス専攻 コース別人材像とコンピテンシー	
デジタルビジネス専攻 IT経営コース	
①人材像	
(a)	生涯にわたり常に社会の動向を意識し、経営と情報技術との関連性からマネジメントの課題に関心を持ち主体的・持続的に学ぶ力を備えた人材
(b)	多様な意見や資料から必要な情報を収集・選択し、自分の考えを的確に表現でき、周りに感動を与え、行動を引き出す人材
(c)	IT社会における高度な情報技術と経営の専門知識を活用して経営課題を解決し、豊かな社会の実現に寄与する人材
②コンピテンシー	
A	情報技術の本質を理解してデジタルビジネスを生涯にわたり主体的に企画・推進できる
B	経営の専門知識と情報技術の活用方法を理解して、広い視野から豊かな社会を実現するデジタルビジネスを創造できる
C	経営の専門知識と情報技術を活かして、広い視野から経営課題を発見し、改善・改革を主体的に企画・推進できる
デジタルビジネス専攻 起業家育成コース	
①人材像	
(a)	生涯にわたり常に社会の動向を意識し、経営と情報技術との関連性からマネジメントの課題に関心を持ち主体的・持続的に学ぶ力を備えた人材
(b)	多様な意見や資料から必要な情報を収集・選択し、自分の考えを的確に表現でき、周りに感動を与え、行動を引き出す人材
(d)	IoTなどの情報技術を活用して自ら進んで経営課題を解決し、地域の活性化や街づくりなど幅広く社会との連携を深めてビジネスを創造できる人材
②コンピテンシー	
A	情報技術の本質を理解してデジタルビジネスを生涯にわたり主体的に企画・推進できる
B	経営の専門知識と情報技術の活用方法を理解して、広い視野から豊かな社会を実現するデジタルビジネスを創造できる
D	経営の専門知識と情報技術を活用してマーケットの動向を分析し、ビジネスの創造や地域の活性化を推進できる

単位制度

業カリキュラム

履修登録

成試験および

成績および

卒業および

教職課程

留意の事項

履修科目と

学位と

一授業科

表目

一年次配当科

コンピテンシー関連マップ

単位
制度
授
業
カリ
キュ
ラム
履
修
登
録
成
績
お
よ
び
卒
業
お
よ
び
教
職
課
程
留
意
の
事
項
履
修
モ
デ
ル
習
得
単
位
一
授
業
科
目
表
目
一
年
次
配
当
科
目
表
目

コース	IT経営コース			起業家育成コース		
	授業科目\コンピテンシー	A	B	C	A	B
経営学への招待	○	○	○	○	○	○
流通の仕組み	○	○	○	○	○	○
デジタルビジネス概論	○	○	○	○	○	○
自己発見ゼミナール			○			○
プロジェクトゼミナールⅠ	○	○		○	○	
プロジェクトゼミナールⅡ	○	○		○	○	
ゼミナールⅠ	○		○	○		○
ゼミナールⅡ	○		○	○		○
ゼミナールⅢ	○		○	○		○
卒業論文	○		○	○		○
簿記原理システム論Ⅰ	○	○	○	○	○	○
簿記原理システム論Ⅱ	○	○		○	○	
経営戦略論	○		○	○		○
経営管理論	○		○	○		○
Webビジネス論	○	○		○	○	
ベンチャービジネス論	○		○	○		○
知的財産権論	○	○		○	○	
民法	○	○		○	○	
アントレプレナーシップ論	○	○		○	○	○
サービスマネジメント	○	○		○	○	
マーケティング論	○	○		○	○	○
マーケティングリサーチ	○	○		○	○	○
デジタルマーケティング	○	○		○	○	○
現代の財務会計論Ⅰ	○	○		○	○	
現代の財務会計論Ⅱ	○	○		○	○	
コンピュータ会計	○	○		○	○	
コストマネジメント	○	○		○	○	
企業倫理	○	○		○	○	
経営史	○	○		○	○	
商法	○	○		○	○	
流通システム論	○	○		○	○	
マネジメントサイエンス	○	○	○	○	○	

プロジェクトマネジメント	○	○		○	○	
インターンシップ	○	○		○	○	
SCM	○	○	○	○	○	
ERPシステム	○	○		○	○	
国際経営論	○	○		○	○	
地域連携論	○	○		○	○	○
現代の経営環境	○	○		○	○	
情報システム学概論Ⅰ	○	○	○	○	○	○
情報システム学概論Ⅱ	○	○	○	○	○	○
職業指導	○	○		○	○	
ICT入門	○	○	○	○	○	○
ビジネスアプリケーションⅠ	○	○	○	○	○	○
Web技術基礎	○	○		○	○	
コンピュータシステムⅠ	○	○		○	○	
コンピュータシステムⅡ	○	○		○	○	
ビジネスアプリケーションⅡ	○	○		○	○	
情報科学基礎	○	○		○	○	
IT戦略とマネジメントの基礎	○	○		○	○	
観光情報学入門	○	○		○	○	
システム開発基礎Ⅰ	○	○		○	○	
システム開発基礎Ⅱ	○	○		○	○	
ネットワークとセキュリティⅠ	○	○		○	○	
Webアプリケーション開発	○	○		○	○	
情報システム特別講義	○	○		○	○	
情報システムの設計	○	○		○	○	
情報社会論	○	○		○	○	
情報職業論	○	○		○	○	
BIとビッグデータⅠ	○	○	○	○	○	○
BIとビッグデータⅡ	○	○	○	○	○	○
プロジェクトトライアル	○	○		○	○	
グローバルヘルスリテラシー	○	○		○	○	

単位制度
授
業
カリキュラム
履修登録
成試験および
成績
卒業級および
業
教職課程
留意の事項
履修モデル
習履卒業に必要
得科目と
位
一授業
覧科
表目
一年次
覧配当
科目
表目

先端経営学科 デジタルビジネス専攻 コース別履修推薦科目 (専門教育)

【専門教育科目】

授業科目の概要	授業科目の名称	授業を行う年次	単位数		IT経営コース	起業家育成コース
			必修	選択		
授業科目の概要 専門教育科目 経営学系科目	経営学への招待	1年	2		必修	必修
	流通の仕組み	1年	2		必修	必修
	デジタルビジネス概論	1年	2		必修	必修
	自己発見ゼミナール	1年	2		必修	必修
	プロジェクトゼミナールⅠ	2年	2		必修	必修
	プロジェクトゼミナールⅡ	2年	2		必修	必修
	ゼミナールⅠ	3年	2		必修	必修
	ゼミナールⅡ	3年	2		必修	必修
	ゼミナールⅢ	4年	2		必修	必修
	卒業論文	4年	2		必修	必修
	簿記原理システム論Ⅰ	1年		2	○	○
	簿記原理システム論Ⅱ	1年		2		
	経営戦略論	2年		2	○	○
	経営管理論	2年		2	○	
	Webビジネス論	2年		2	○	○
	ベンチャービジネス論	2年		2		○
	知的財産権論	2年		2		
	民法	2年		2		
	アントレプレナーシップ論	2年		2		○
	サービスマネジメント	2年		2		
	マーケティング論	2年		2		
	マーケティングリサーチ	2年		2	○	○
	デジタルマーケティング	3・4年		2	○	○
	現代の財務会計論Ⅰ	2年		2		
	現代の財務会計論Ⅱ	2年		2		
	コンピュータ会計	3・4年		2		
	コストマネジメント	3・4年		2		
	企業倫理	3・4年		2		
経営史	3・4年		2			
商法	3・4年		2			

授業科目の概要	専門教育科目	経営学系科目	流通システム論	3・4年		2		
			マネジメントサイエンス	3・4年		2		
			プロジェクトマネジメント	3・4年		2	○	
			インターンシップ	3・4年		2		
			SCM	3・4年		2	○	
			ERPシステム	3・4年		2		
			国際経営論	3・4年		2		
			地域連携論	3・4年		2		○
			現代の経営環境	3・4年		2		
			情報システム学概論Ⅰ	2年		2	○	○
			情報システム学概論Ⅱ	2年		2	○	○
			職業指導	3・4年		2		
		情報学系科目	ICT入門	1年	2		必修	必修
			ビジネスアプリケーションⅠ	1年	2		必修	必修
			Web技術基礎	1年		2		
			コンピュータシステムⅠ	1年		2		
			コンピュータシステムⅡ	2年		2		
			ビジネスアプリケーションⅡ	2年		2		
			情報科学基礎	2年		2		
			IT戦略とマネジメントの基礎	2年		2		
			観光情報学入門	2年		2		
			システム開発基礎Ⅰ	3・4年		2		
			システム開発基礎Ⅱ	3・4年		2		
			ネットワークとセキュリティⅠ	3・4年		2		
			Webアプリケーション開発	3・4年		2		
			情報システム特別講義	3・4年		2		
			情報システムの設計	3・4年		4		
			情報社会論	3・4年		2		
			情報職業論	3・4年		2		
			学部横断科目	BIとビッグデータⅠ	3・4年		2	○
		BIとビッグデータⅡ		3・4年		2		
		プロジェクトトライアル		3・4年		2		
		グローバルヘルスリテラシー		3・4年		2		

○印は、選択したコースで推奨されているコア選択科目，無印は、関心に応じて選択すべき選択科目。

単位制度
授
業
カリキュラム
履修登録
成試験および
成績
卒業級および
業
教職課程
留そ
意の
事他
項の
履修モデル
習履卒業に必要
得修科目と
単位
一授
業
覧科
表目
一年次
配当
覧科
表目

先端経営学科の卒業要件

93ページの要件を満たし124単位以上を修得する必要があります。

学位授与の方針

所定の単位を修得したこと、すなわち、定められたコンピテンシーを身に付け、育成すべき人材になっていると認められた学生に「学士（経営情報学）」を授与します。

単
位
制
度

業

カ
リ
キ
ュ
ラ
ム

履
修
登
録

成
試
験
お
よ
び
績
び

卒
進
級
お
よ
び
業
び

教
職
課
程

留
意
の
事
他
項
の

履
修
モ
デ
ル
教
育
課
程
の
概
要

卒
業
に
必
要
な
履
修
単
位
と
習
得
単
位

一
授
業
科
表
目

一
年
次
配
当
科
表
目